

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：県産材流通対策費

事業名【新】林内通信環境整備事業

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林整備課 スマート林業推進係 電話番号：058-272-1111(内3252)

E-mail：c11515@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,800 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	7,800	0	0	0	0	0	0	0	7,800
決定額	7,800	7,800	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

森林経営管理法が平成31年4月に施行され、森林環境譲与税を受けた市町村では、森林所有者に対し森林経営に関する意向調査を進めている。今後、市町村職員や森林所有者が調査のため森林内に入ることが増えると想定され、林務の専門職員のいない市町村をサポートするため、県の職員が同行することになる。

一方、森林内は携帯電話の通信圏外であることが多く、職員は通信手段を持たないまま調査や測量を行っており、班に分かれて作業する場合には、他の班がどこで作業しているかが把握できず、作業の進捗情報を共有することもできない。

自班の作業が早く終わった場合、他班が手伝いを必要としている状況なのか、どこへ向かえば合流できるのかが確認できないため、集合場所で待つことになり、時間のロスとなっている。

加えて、林業の現場においても、情報共有により高性能林業機械の稼働率向上、木材の生産から流通までの時間短縮が期待できる。

そこで、県が林内でも通信可能なLPWA通信機器をモデル的に導入することにより、職員の業務効率化に資するとともに、市町村や林業事業者への普及を図る。

(2) 事業内容

森林内でも電波の到達に優れたLPWA技術を搭載した通信機器を県が導入し、森林調査時に携帯することで、作業の進捗状況や位置情報を共有し、業務の効率化を図る。

また、調査に同行する市町村・林業事業者職員に対し利便性を示すことにより普及を図り、林内通信環境整備に向けた機運を高める。

- ・ LPWA通信機器×10農林事務所

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

林内通信環境整備に向けたモデル的な取り組みであり、県の業務効率化に資する機器でもあるため、県が導入する必要がある。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	7,800	LPWA通信機器
合計	7,800	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画（予定）

第2 林業・木材産業の振興

2 DXの推進による林業・木材産業改革

2-2 木材の安定供給と森林所有者への利益還元

(3) ICT導入によるスマート林業の推進

(2) 国・他県の状況

近隣では5県がLPWA通信機器の林業の現場での実証実験を実施しているが、県への配備はない。

(3) 後年度の財政負担

次年度以降、通信費等の負担が発生

(4) 事業主体及びその妥当性

1) 事業主体：県

2) 妥当性：林内通信環境整備に向けたモデル的な取り組みであり、県の業務効率化に資する機器でもあるため、県が実施するのは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

LPWA通信機器の利用回数100回/年、第4期岐阜県森林づくり基本計画終了年度の令和8年度までに延べ500回を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①LPWA通信機器利用回数(回)	0	-	-	100	500	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 スマート林業を推進するには、林内の通信環境整備が不可欠であり、市町村や林業事業体への普及が必要</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 同行する市町村や林業事業体の職員に対し、LPWA通信機器の利便性を示し、普及を図っていく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	